

競売か? 任意売却か?

夫が住宅ローン滞納!? …A美さんのケース

気が付けばもう3月…は、は早すぎるう…。 働く母さんは春夏秋冬忙しいけれど。この季 節、3月はもう祭りです。

わが家も娘が高校進学、息子が中学進学(い ろんな意味で義務教育に感謝)、仕事も年度 末でフル回転…そんな時にも夜の心療内科= 心洗われるすてきな久茂地のbarで「マジ で、支えてくれる妻がほしい…」とつぶやき ながらウイスキーをたしなむ最近の私です。

私が男性ならばきっと「仕事熱心で子育て にも協力的ないいお父さん」。でもお母さん なもんで「お母さんの愛情が足りずに子ども がかわいそう」と言われてしまう。そんなと きにはチーターの子育てを思い出して自分を 励まします。狩り(仕事)から戻って子ども が無事でいることに感謝し、ぎゅっとハグ、 以上! みたいな気持ちになります。

カードローンの金利は要注意!

さて本題! ご相談者は女性A美さん(50 代)。知り合いのご紹介でのご来店です。

「競売開始決定の通知が届いたけれど何か の間違いかと思って夫に聞いたら、住宅ロー ンを滞納していたみたいで…どうすればいい のか…」と疲れたご様子。目は真っ赤になっ ていました。A美さんは日中パートで家を空 けていることが多く、何度となくあった督促 に気が付きませんでした。それもそのはず、 郵便物は自宅でお仕事をするF男さん(夫) が隠し破棄していたとのこと。生活費はA美 さん、住宅ローンはF男さんと2人で負担を 分けていただけにだまされた気がする、とA 美さんは憔悴していました。

F男さんは事業資金と住宅ローンの支払い を地銀のカードローン200万円の「枠」を利 用することで、A美さんに気付かれないよう にしていたのです。A美さんはF男さんとの 生活を大切に思っていましたし、F男さんも 好きこのんで隠してきたわけではなく「あの 仕事が受注できたら取り返せる! A美に余 計な心配はかけたくない」との思いからカー

住宅ローン滞納後の流れ 書面・電話による督促 期限の利益喪失予告状 期限の利益喪失通知 一括支払い請求 代位弁済手続き開始の予告 代位弁済通知 一括支払い請求書

※期限の利益損失/住宅ローンの滞納が一定期間続 くと「期限の利益を喪失」する。期限の利益を喪失 するとローンの分割払いができなくなり、「一括払 い」しなければならない。※代位弁済/返済が滞っ た場合、保証会社などが債務者に代わって、借入先 の金融機関に一括返済してしまうこと。

競売開始決定通知書

ドローンを利用したとのこと。

ここで、アドバイスです。地銀とはいえどカ ードローンの金利には要注意! 短期間で返 済の目途がない場合は延命措置になりませ ん。軍用地カードローンや教育カードローン 以外は年利4%を超え、場合によっては9% 近いケースもよくあります。返済額が少額で 気軽に利用できる、というメリットが「多重債 務」という沼の入り口になることもあります。

選択肢は三つ時間との勝負!

裁判所から競売開始決定の通知が届いてい るということは、もう時間との勝負で選択肢 が限られてきます。ご相談を受けた私たちは、 債務の内容、抵当権者の数、市町村からの差 し押さえの有無などから、できること、でき ないことを判断する必要があります。

選択肢は次の三つ。

- ●任意売却にチャレンジする
- ●一括返済(限りなく不可能)
- ●競売を覚悟する

今回のケースでは抵当権者は地銀住宅ロー ン・地銀カードローン・市役所の差し押さえ の3カ所であることを確認し、それぞれと交 渉を重ね任意売却で進めることに。万が一競 売に移行しても「開札の前日まであきらめず にチャレンジ!」をスローガンに、A美さん F男さんたちは愛着ある住宅を任意売却する ことになりました。売り出し早々に見つかっ た買主は、弊社の顧客で不動産の知識もある 投資家の方だったこともあり、信頼関係とご 協力をいただきながらスピード感のある売買 が実現しました。競売前の任意売却ができ、 私たちもほっとしたとともに、あと半年早く 相談してくださったら、あと数百万円高く売 却することができたかも、とチクリと心が痛 む取引でした。

家を買うことがゴールではない

相談から売却までの間に、A美さんの表情 はどんどん明るくなりました。任意売却の仕 事のやりがいは、お客さまの笑顔が増えてい く姿を傍らで見ることができるところでもあ ります。「どうして"家"にこだわっていた んだろう。今思うと、夫だけが悪いわけでは なく、収入が不安定な私たちには無理が生じ やすい住宅だったのかもしれません」とA美 さん。ご夫婦の関係性にも気づきがあったよ うです。よかったです!

次回は「住宅をリフォームして関係を見直 す」です。See you~ =毎月第3週に掲載



かわばた・ゆかり/1971年、浦 添市出身。短期大学卒業後、那 覇空港地上職・地元情報誌編集 建設会社不動産部勤務を経て 1999年侚とまとハウジング設 立。趣味は猫とお酒と読書、仕 事が絡まないゴルフ。https://w ww.tomato-okinawa.com/rikon/